

# 九里学レポート

(事務所・自宅)〒520-3001 滋賀県栗東市東坂409-3 [try@9ri.jp](mailto:try@9ri.jp) (発行責任者/九里 学・編集責任者/米津 進)

## 今年一年ありがとうございました。

滋賀県議会議員

くのり  
まなぶ  
九里 学

多くの皆さまに支えられながらお陰様で今年も過ごすことができました。

県民のいのちやくらしに直結する政策課題が山積する今日、人と人が互いに認めあい、助けあえる社会づくり、人を第一に尊重する滋賀づくりのためにひたむきに活動してまいりました。

『県庁のための県民ではなく、県民のための県庁たれ』(初代県令松田道之談)  
『県民主軸』の初心忘れることなく、来たるべき年も地道に行動します。是非おみかけの折はお声がけください。  
平成30年12月吉日



### 九里学 くのり まなぶ レポート

H30年  
10月~12月  
週末は  
栗東市民の  
皆様との  
ふれあいが  
元気の源!!

#### 市民主軸で



#### 行政・団体要望



#### スポーツ振興



### 9/27 (木) 本会議一般質問 『子育てを支える保育人材確保と子どもの未来をつくる保育施設増設について』 【子育て環境の整備】を知事に求める。

(九里質問)…待機児童解消について県から市町へ支援すべき対策にはどんなことができるのか。  
 (三日月知事答弁)…市町の保育所等の施設整備促進を行うとともに保育人材確保対策に努めてまいりたい。整備支援について、年平均約800人、直近5年間で計4,240人の定数増を図りたい。議員のおっしゃる通り、保育人材確保については今年度から新たに待機児童対策協議会を設置し、区域を越えた広域的見地からの調整が必要。市町と意見交換・協議を積極的におこなっていきます。  
 (九里質問)…全県の現在不足している保育士推計数はどれだけか。  
 (健康医療福祉部長答弁)…本年4月1日現在439人の待機児童があり、配置基準上の保育士数から推計しますと82人不足しており、そのうちの約半数が天津・湖南地域で占めています。  
 (九里質問)…この保育士不足の現状をどう知事は受け止めるのか。保育士不足の市町や近隣市町が協力しあえるような仕組みを県主導ですべき。知事として喫緊にどんな対策を講じてくれるのか。  
 (三日月知事答弁)…県内の保育士有効求人倍率は昨年度2.65倍とここ数年2倍以上で推移しており、議員の指摘通り、安心して子どもを預けられる受け皿を整備するための保育人材確保がなにより重要です。潜在保育士の再就職支援、現任保育士の離職防止を強力に進めます。また、エリア毎の課題について該当する市町とともに整理し、広域的な保育人材確保対策と課題解決に共に努めていきます。  
 (九里質問)…保育士の最近一年間の退職率とその理由、常勤・非常勤職員の比率の滋賀県の現状はどうか。  
 (健康医療福祉部長答弁)…退職者数は358人で過去1年県内の退職率は9.2%。退職理由は「妊娠・出産」、「給料が安い」が約25%。「人間関係」「結婚」「仕事量の多さ」が約20%です。常勤と非常勤の比率は公立園で常勤62.7%、非常勤37.3%、私立園で常勤71.0%、非常勤29.0%と6対4、7対3の比率となっています。  
 (九里質問)…国の幼児教育・保育の無償化政策が一年後に迫り、企業主導型保育所が導入される中、滋賀県としても子ども達の未来をつくる保育施策は子育て世代に限らず全ての県民にとって大変重要。これから進むべき「滋賀の保育」について知事はどう考えているのか。  
 (三日月知事答弁)…保育所等の施設は、乳幼児期の子どもの人格形成に大きな影響を与える大切な場所であり、人との関わりの中で愛情や信頼感を育む重要な役割を担っていると考えています。保育所がこれらの役割をしっかりと果たせるよう保育人材育成、待機児童解消にしっかり取り組み、誰もが「子育てと就労の両立」ができるよう滋賀県として子育て施設の整備と保育人材確保対策に市町と共によりしっかりと取り組みを進めてまいりたいと考えています。

### 滋賀県代表として関西広域連合議会(11/21\*)で登壇。 京滋ドクヘリ・済生会滋賀県病院の地元議員として『ドクターヘリについて』 飯泉委員(広域医療担当・徳島県知事)に一問一答で質問!!

(九里質問)…関西広域連合の救急医療計画をふまえた上でのこれまでの実績成果について伺う。  
 (飯泉答弁)…関西圏域にとどまらず広範囲での救急医療提供体制の充実・効率化がこれまで図られてきました。災害発生時のより効率的な運航体制の構築や近隣地域との連携を更に進めることで、二重三重のセーフティーネットの強化や基地病院間の連携強化、搭乗人材スキルアップに加え、災害時の運航体制充実や基地病院間の情報共有、フライトドクター・ナース同士の意見交換など着実に今後も進捗していきます。  
 (九里質問)…中国・四国地域との相互応援協定や福井県との共同利用協定を利用し、ドクヘリ範囲をもっと広範囲で進めるべきではないか。  
 (飯泉答弁)…管内西側エリアは高知県や愛媛県、中国5県、東側エリアは三重県へと応援協定により体制強化を図ってきましたが、ご指摘のようにセーフティーネット強化にとって、奈良県や三重県、岐阜県を含め東側エリアを中心に拡張することは大変有効です。各関係府県と連携し、相互応援実施に向け近隣県と協議を進めて参ります。  
 (九里質問)…広域連合ができて八年。そろそろドクヘリ運航をより安全で低コスト化するためこれまでの各種事業の単年度契約を見直し、複数年度契約に転換すべきではないか。  
 (飯泉答弁)…長期的に安定的な運航体制の確保、業者間の競争促進、契約事務の簡素化など効率化には有効と認識はしていますが、選定方法や契約期間中のコスト増減など課題もあります。議員の提言をふまえ複数ヘリの一括入札・契約のスケールメリットを含め先行事例や基地病院との調整などの解消に向け前向きに取り組んでいきます。  
 (九里質問)…思い切った改革案として7機のドクヘリ事業を一体運航してはどうか。総コストと総出勤回数に基づき利用単価を統一することや、補助方式から委託方式に統合するなど予算の弾力的な使い方、効果効率的な運航体制を構築すべきだ。  
 (飯泉答弁)…現在は、人件費や運航委託経費を含め運航経費は各府県が運行実績に基づき按分算定しています。ご提案の一体運航はわかりやすいルールで有効ですが、一方で運行回数や運航単価に現在開きがあること、対象経費の統一化など課題もあります。ご提案に基づき、まずは課題解決の検討や現行負担金の算定方法とのメリット・デメリット含めしっかりと研究を進めます。  
 (九里質問)…ドクヘリ関西広域連合導入は大きな実績の一つ。広域での救命救急医療体制の充実に向けて今後の展望について伺う。  
 (飯泉答弁)…これまで「30分以内の救急医療提供体制」や「複数ドクヘリによる二重・三重のセーフティーネット構築」の他、「災害被災地への迅速な支援」など大きな成果が出てきました。今後は、より効果的で効率的な運航や本日まで提言いただきましたことについても積極的に研究を進め「安全安心の四次医療圏・関西」の実現に全力で取り組んで参ります。【大阪国際会議場にて】